

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

2012-2013 ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



和気  
藹藹

田中作次



国際ロータリー第2510地区

2012-2013年度ガバナー 細川好弘

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512

e-mail : rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

## 2012-13年度 国際ロータリーのテーマ

---

奉仕を通じて平和を Peace Through Service



### 国際ロータリー第2510地区2012-2013年度 地区目標

---

- I ロータリーを新世代と共に未来につなげよう。
- II 地域や世界に役立つ奉仕をしよう。
- III 今一度、親睦と友情を拡大しよう。

### CONTENTS

---

ガバナーメッセージ	1
ロータリー世界平和フォーラムに参加して	3
札幌モーニングRC25周年に感謝して	4
現新ガバナー補佐引継ぎ会議と 現新ガバナー補佐・地区委員長引継ぎ会議報告	5
宮古キッズベースボールキャンプ in 滝川2013	7
第23回 日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会	9
インターアクト年次大会報告	11
第40回ローターアクト地区大会報告	12
リスボン国際大会報告	13
地区代表幹事の退任にあたって	14
2012-13年度ガバナー補佐退任のご挨拶	15
2012-13年度地区委員長退任のご挨拶	20
米山寄付/ロータリー財団寄付	31
「長万部」毛がにまつりに出店/新会員の紹介/計報	32
5月出席率・会員数	33
6月出席率・会員数	34

---



# 平和への祈りをいつまでも

国際ロータリー第2510地区

2012-13年度ガバナー 細川好弘 (静内RC)

ロータリアンにとって平和の実現は身近な取組みから始まります。

田中作次R I会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」国際協議会で熱意溢れる発表を受けて、世界中532地区より一堂に会した1600人以上のロータリアンによってスタンディング・オベーションによる大拍手が響き渡りました。

田中R I会長は更に戦後の日本について、平和を重視し、日本人としての心を開き、寛容を学び、もっと深く世界を理解するようになったと紹介をし、「超私の奉仕」の理念は、今や私の人生哲学であると述べられました。

この確かな想いを、地区内ロータリアンの皆様にご理解いただき、クラブ運営に反映されるべく微力ながら努めさせて戴きましたが、諸先輩のご指導を仰ぎ友人各位の支援のもとガバナーという大役に浴し、心から感謝をしているところであります。特に都会的なセンスには届きませんが、第2510地区のロータリー物語日高版と表現させて戴きますが、ガバナー就任前の各研修セミナーは、地区チーム研修セミナー、PETS、財団、米山セミナー、地区協議会等に熱意ある信頼関係を築きながら、ロータリー情報を学ぶパイオニア魂に溢れておりました。

地区大会では遠路のところ多数のご参集を賜り、ライラセミナー併催等ロータリアンの善意を届けて戴き、盛り上げて下さいましたことで、記憶に残る集いでありました。

各クラブの伝統を継承しながら、地区に密着した奉仕活動でロータリーを楽しんで果たすべき役割を成し遂げられておられる事、正に国際ロータリーの主役として相応しいクラブばかりでありました。

IMはロータリーを学び、平和、新世代、大震災復興等幅広いテーマを中心に、各グループの特色あるプログラムは心を動かされる内容であり、学びながら友情を深める貴重なロータリー物語が展開されました。

地区内72クラブの為にご尽力下さいました12名のガバナー補佐の皆様、同じく地区の運営に責務を果たされた地区委員会委員長並びに委員の皆様と共に田中作次R I会長の年度に巡り会ったことを喜びとするところであります。

佐々木正丞ガバナー年度に始まり、熊澤隆樹ガバナー年度と継続して取組まれた大震災救援奉仕プロジェクト委員会（委員長代行堀江和美、砂川RC）3年目の事業は地区版補助金（地区支援金

利用)として支援を行い、福島県、岩手県、宮城県等で7事業が慎重な審査のもと実施され、支援先との友情を深めながら子供たちの心を癒すプログラムを中心に事業のお世話を戴いたロータリアンの皆様に感謝を申し上げます。

3月11日は生涯忘れる事の出来ない東日本大震災を心に刻む日であります。「震災発生日を心に刻む週間」として支援プログラムが引き続き実践される思いをつなげて戴くようお願い申し上げます。

ロータリーではよく「寛容の精神で」という表現を使います。ポール・ハリスのスピーチの中に「宗教が違う人々がロータリーで同じテーブルにつく事ができたら、どんなに素晴らしいことだろう」と述べています。彼の考える寛容はそういう人間社会の基本にかかわる事であり、平和への道である事を訴えておりますように、「寛容」はロータリーの重要な心であり、その精神は108年も続いているロータリーの世襲財産であります。

平和の道を全世界に発信した「奉仕を通じて平和を」の年度は、2013ロータリー世界フォーラムをドイツ、米国ハワイ、日本広島市の3ヶ所で開催され、田中R I会長の祈りを越えたテーマに答える年度となりました。

「心技体」に始まりましたガバナー月信も最終号の「和気藹々」迄、おつきあいを賜り有難うございました。

編集関係の方々のご苦勞に謝意を表し、かけがえのないロータリアンとして友情が持続する最良の日々を迎える為のロータリー活動に共々貢献される様ご期待申し上げ、長いようで短かったガバナー年度を反省させて戴きました。





# ロータリー世界平和フォーラムに参加して

地区ローターアクト委員会

委員長 **蝦名大典**

(札幌南RC)

5月17日～18日に広島県で開催されましたロータリー世界平和フォーラムに当地区からローターアクト4名と共に参加してきました。各国・各地区のロータリアン・ローターアクター・新世代を中心とした関係者らが参加しており様々な人と出会い話を聞くことができ私にとっても参加したアクターにとってもとても良い経験になりました。今回のフォーラムのワークショップは5会場に分かれていて、私たち2510地区の参加者の多くは、Cセッションに参加しました。テーマは「戦争と平和のために、国家の果たすべき責任とその特性とは何か」というもので、コーディネーターの阿部浩己（神奈川大学法科大学院教授）さんの基調講演のあとに参加者による討論が行われました。



様々な国の新世代の参加者が各国の平和という言葉の意味・考え方などを発表し話し合うことで本当に多くの違いがあることが分かりました。

討論の内容は「今、自分の国は平和ですか?」「平和の中で生きていきたいですか?」「平和のイメージとははなんですか?」「平和を阻んでいるものはなんですか?」といった内容でのディスカッションでした。戦争がないからといって必ずしも平和と言う訳ではありません。



ワークショップのあと、エコ風船「平和の鳩」を懇親会会場へ移動する途中にある平和大橋の上から風船を飛ばしました。鳩の形をしたこの風船はエコロジー風船です。広島で開発されたもので太陽光に当たると、水・炭酸ガス・バイオマ

互いに会いコミュニケーションをし、顔が見える交流こそが戦争をなくすのではないかという意見も出ていました。

ワークショップのあと、エコ風船「平和の鳩」を懇親会会場へ移動する途中にある平和大橋の上から風船を飛ばしました。鳩の形をしたこの風船はエコロジー風船です。広島で開発されたもので太陽光に当たると、水・炭酸ガス・バイオマ



スに分解される素材でできていて、土に還る環境にやさしい風船とのことでした。

懇親会終了後は、細川ガバナーをはじめ参加ロータリアン、ローターアクターの皆様とおいしいお酒を飲みながら親睦を深めました。

このような機会を戴きありがとうございました。



## 25周年に感謝して—ロータリアンとしての夢

札幌モーニングロータリークラブ

会 長 田 中 燈 一

北海道で最初の朝に例会を行う「札幌モーニングロータリークラブ」が1988（昭和63）年に創立されて、今年で25年となりました。

31人で発足し、当時平均年齢は48才でした（現在は59才）。私は翌年に36才で入会し、ロータリアンの若々しさ・明るさ・元気さに驚いたことを思い出します。ロータリーのイメージは、60才以上の事業の成功者の方々の優雅な集まり、というものだったからです。

当クラブ会員は、最大72名までになりましたが、その後は減少し、昨年の7月1日の今期のスタート時には45名でした。しかし今期4名の新入会員があり、来期以降も新入会員予定者が何人かいて、明るさと元気を取り戻しています。

この25年の間には、「生活なんでも相談」「カミネッコン植樹」をはじめとした社会奉仕活動、インターアクトの支援や交換留学生やGSEの受入等の国際交流、各種多様な同好会の活動等、様々な活動を行ってきています。単なるロータリークラブの会員（出席義務を果たし、会費を支払い…）というだけでなく、真のロータリアンになれたと感じた瞬間（ロータリーモーメント）を各メンバーが持てたのではないのでしょうか。そしてこれからも、そんな感動と体験を会員全員が共有しあえたら素晴らしいと思います。

札幌のみならず、東京等の各クラブにもたくさんメーキャップしましたが、わがクラブが最高です。このクラブでなかったら、私は25周年までロータリーをしていなかったかもしれません。ここは特別、ここは最高なのです。この25年間、当クラブを育ててくれた創立以来のOB会員や地区の仲間たちや役員の方々、そして何よりも現在の会員や家族の方々に感謝しつつ、最後に私の「ロータリアンとしての夢」を語らせていただきたいと思います。

あと30年すると私は91才となります。まだまだ現役のロータリアンです。そして、例会等に出てきて、70を超えたとか言っている若輩にして後輩たちにこう言いたいのです。

「〇〇君、何をジジくさいことを言ってる。わがクラブは常に若々しく躍動してなくてははいかん。新しいことにどんどん挑戦しよう。札幌モーニングはまだ55周年を迎えたばかりじゃないか！」





# 現新ガバナー補佐引継ぎ会議と 現新ガバナー補佐・地区委員長引継ぎ会議報告

去る6月15日(土)ホテルライフオーソ札幌を会場に上記会議が開催されました。

現新ガバナー補佐引継ぎ会議は午前10時30分より中山弘三郎地区代表幹事の司会によって開催され、細川好弘ガバナーの挨拶の後、12グループのガバナー補佐一人一人から一年間の活動報告がなされ、次いで八島壮之次年度地区代表幹事から次年度ガバナー補佐12人が紹介されました。続いて次年度各ガバナー補佐より次年度に向けての抱負と共に活動計画が発表され、安孫子建雄ガバナー・エレクトが次年度へ向けての抱負を述べて会議を終了しました。

午後1時30分より開催された現新ガバナー補佐・地区委員長引継ぎ会議は中山弘三郎地区代表幹事の司会により進行され、細川好弘ガバナーの挨拶、安孫子建雄ガバナー・エレクトの挨拶に続き、今年度地区委員長より一年間の活動報告、次年度委員長より7月からの新年度開始を目前にして活動計画と抱負が述べられました。特に会員増強委員会からは「国際ロータリーは2015年6月までに会員130万人を目標としており、その為には各クラブ年純増3%の達成を目指しましょう」との計画が発表されました。一旦休憩の後はガバナー事務所およびガバナー・エレクト事務所からのお知らせと報告があり羽部大仁ガバナー・ノミニーの挨拶で閉会しました。

午後4時からは現新役員の手合懇親会が八島次期地区代表幹事の司会により開催され、現役員一年間の労苦を称え次年度役員の健闘を祈りつつ和やかに懇談が進み、午後5時30分閉会しました。

(地区幹事山田一孝)

## 現新ガバナー補佐引継ぎ会議



現新ガバナー補佐・地区委員長引継ぎ会議



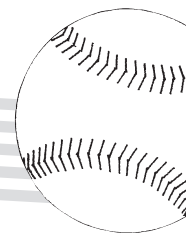
合同懇親会





「大震災地域の少年野球教室・大会招待支援事業」  
岩手県宮古市内少年野球チーム招待事業

# 宮古キッズベースボールキャンプ in 滝川2013



2013年6月6日(木)～6月9日(日)

- 主 催 滝川ロータリークラブ（国際ロータリー第2510地区（北海道西部））  
共 催 国際ロータリー第2510地区（北海道西部）  
宮古ロータリークラブ（国際ロータリー第2520地区（岩手・宮城））  
後 援 滝川市・宮古市・滝川市教育委員会・宮古市教育委員会

## 事業趣旨

大震災地域の子供達は、現在も屋外で運動や遊ぶ事が不自由な環境の中、我々ロータリアンが、力となり子供達を滝川に招いて心のケア支援活動に取り組みます。

更に、地元の子供達と交流を通じて新世代奉仕の活動及び地域社会の人達の交流で震災地域のこれらに対する支援活動の告知を行うことで意識を変えていきます。また、招待した少年達が地元に戻ってこの体験を糧として、これからの将来を前向きに考え希望を持って前進していくことが、周りの人達に希望を導いて新しい未来像を描くことが出来ると願うプロジェクトです。

## 事業概略

滝川RCでは、第2510地区の大震災復興補助金を活用させて頂き、大震災地域の少年野球教室・大会招待支援事業である「宮古キッズベースボールキャンプ in 滝川2013」を開催しました。

6月6日（木）宮古市を出発した児童19名・随行者6名は、八戸港からフェリーで6月7日（金）早朝、苫小牧港に到着し、滝川RCの藤井副会長と渡辺委員長が出迎え、バスは、札幌へ向かい札幌中央市場で朝食、その後大倉山ジャンプ場で、ジャンプ台の高さに数名の子供達は、若干の恐怖を感じていました。

札幌ドームでは、グラウンドで打席やベンチの感触を体験し感動をしていました。旭山動物園は、やはり子供です。一目散に目的の施設に駆け足で見学をしていましたので、無理をした甲斐あり旭山に行ったら良かったと感じました。

6月8日（土）野球教室は、元巨人軍の仁村 薫氏及び元NTT東日本の小原慶治氏、2名の指導者をお招きして宮古市・滝川市の子供達に野球の指導をしていただき、子供達は、暑さにも耐えながら、真剣に指導者の話を聞いて一生懸命に身体を動かして自分の技量を磨こうと必死で学んでいました。





6月9日（日）滝川ロータリークラブ杯野球大会は、

第1試合 宮古市選抜チーム対滝川東小学校 12対0で宮古市選抜チームの勝利

第2試合 滝川西小学校対滝川東小学校 5対1で滝川西小学校の勝利

第3試合 宮古市選抜チーム対滝川西小学校 4対0で宮古市選抜チームの勝利

で宮古市選抜チームが2勝を挙げて閉幕しました。

宮古市の子供達は、この短い期間ではありますが北海道を体験して、滝川の子供達と野球を通して交流を図り、楽しい時間を過ごせたと思います。この体験を糧に今後、宮古市の子供達がたくましく成長されることを期待することを望みます。



滝川ロータリークラブ杯少年野球大会

宮古キッズベースボールキャンプ in 滝川2013  
2013年6月9日



# 第23回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会

大会実行委員長 **菊地 弘 嗣**  
(札幌東RC)

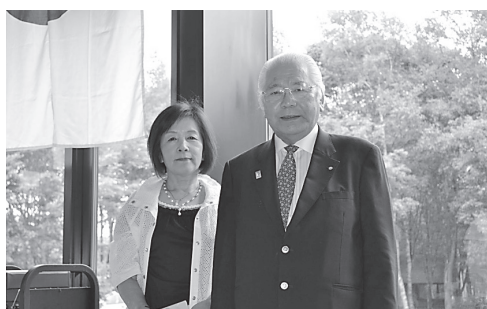
第23回日本ロータリー親睦ゴルフ(JGFR)北海道大会が6月17日恵庭カントリー倶楽部において、今年はホストクラブを札幌東RCがコ・ホストクラブを恵庭RCとして開催された。今年は支笏・阿寒・摩周の3コースに分かれてそれぞれスタートして行った。天候にも恵まれ、怪我も無く無事全組ホールアウトして来た。各組アテスト終了後、入浴で汗を流した後、それぞれのテーブルで食事を取りながら成績発表を待っていた。

山口実行委員(札幌東RC)の司会で、細川好弘ガバナーのご挨拶から始まり、大会実行委員長菊地弘嗣(札幌東RC)の挨拶、田中新一(札幌東RCの会長)の乾杯の発声で表彰式・懇親会が始まった。



北海道から九州まで、全国からロータリアンが参加してくれた。沖縄からの参加が今年は無かったのが残念だった。参加者はシニアの部32名、一般の部58名、レディースの部7名の総勢97名の参加だった。今年は例年に比べて地元北海道の参加者が増え、本州のクラブとの親睦を十分に深めることができた。各クラスの優勝者と成績は次のようになった。

シニアの部・小林英生(広島安芸RC)さん・グロス86・ネット70.4、一般の部・遠藤隆司(西脇RC)さん・グロス78・ネット70.8、レディースの部・寺本説子さん・グロス96・ネット78.0だった。表彰式の時に今年も東北大震災復興に向けての「にこにこ」で多くの方達にご協力をいただいた。恵庭RC宮内光則会長の閉会の挨拶で第23回JGFR北海道大会は閉会となった。



レディースの部・寺本説子さん



一般の部・遠藤隆司さん



シニアの部・小林英生さん

## シニアの部

順位	競技者名	所属 RC	支笏	阿寒	摩周	GROSS	HDCCP	NET
優勝	小林 英生	広島安芸	44	42		86	15.6	70.4
準優勝	北川 安男	豊田中(ゲスト)	37		42	79	8.4	70.6
3	畑地 誠	田辺東		43	41	84	12.0	72.0
4	末永 勝昭	大垣中		42	47	89	16.8	72.2
5	寺本 忠行	橋本紀ノ川		43	49	92	18.0	74.0
6	中井 洋	尼崎東	45	46		91	16.8	74.2
7	水野 功	浜松中		47	49	96	21.6	74.4
8	山下 善彦	浜松中		48	45	93	18.0	75.0
9	小橋 康紀	高松グリーン	34		41	75	0.0	75.0
10	佐藤 秀雄	千歳	45		40	85	9.6	75.4

## 一般の部

順位	競技者名	所属 RC	支笏	阿寒	摩周	GROSS	HDCCP	NET
優勝	遠藤 隆司	西脇	39	39		78	7.2	70.8
準優勝	日暮 孝男	静内	36	36		72	0.0	72.0
3	佐々木 徹	大川		41	42	83	10.8	72.2
4	舩田 雅彦	札幌幌南	39	41		80	7.2	72.8
5	櫛田 浩哉	鈴鹿シティ		38	38	76	2.4	73.6
6	松浪 昭二	米子東	49		43	92	18.0	74.0
7	村田 研一	千歳	39		40	79	4.8	74.2
8	日野岡信太郎	茨木	45		38	83	8.4	74.6
9	北村 譲二	網走	45		42	87	12.0	75.0
10	福田 義信	静内	41	46		87	12.0	75.0

## レディースの部

順位	競技者名	所属 RC	支笏	阿寒	摩周	GROSS	HDCCP	NET
優勝	寺本 説子			49	47	96	18.0	78.0
準優勝	末永 京子			50	49	99	20.4	78.0
3	山下美佐緒		50	53		103	24.0	79.0
4	畑地 淑代			58	58	116	34.8	81.2
5	中井 峰子		58	50		108	25.2	82.8
6	大塚 多恵子		55		55	110	26.4	83.6
7	丸山 恵子			57	61	118	33.6	84.4



# インターアクト年次大会報告

地区インターアクト委員会

委員長 山口史朗 (札幌東RC)

インターアクト年次大会が、6月22日(土)、23日(日)の両日に亘り開催されました。今年度は、札幌西北ロータリークラブと札幌山の手高等学校のホストで、盛大且つ無事開催出来ました事をご報告申し上げますとともに、ホストを務めてくださいました関係者皆様に感謝と御礼を申し上げます。

参加は、インターアクト7校で、インターアクター及び顧問110名余り、ロータリアンの皆様にも、多くのご登録とご参加をいただきました。テーマは、「あなたの優しさを家庭へ…地球へ…」で、全体を通して貫かれていたと感じました。インターアクターの初々しい進行と点鐘で始まり、国歌斉唱・インターアクトの歌斉唱、参加者紹介、歓迎の言葉、来賓挨拶とセレモニーが続き、セレモニー終了の点鐘のあと、プログラムに入りました。プログラム1は、「心眼力」～柔らかに燃えて生きる30の知恵～で、親の愛情と子に対する深い想いを感じさせる映像で、インターアクターの胸に強く響いたと感じました。プログラム2は、「誕生学」で、公益社団法人誕生学協会の菊地咲十子氏と清水恭子氏を講師に迎え、生命誕生の神秘・自分がこの世に誕生するまでの連鎖の奇跡と必然・命の重み、自分を大切にすること等を学びました。稀有な存在である自分の誕生と、自分と他人の存在を大切に思いやる心を理解してくれたと思います。夕食を挟み、ジャージに着替えて体育館でのプログラム3は、レクリエーションです。レクリエーション協会、竹内公史氏の指導のもとで、他校のインターアクターとの交流をしながら、体を動かし、心地よい汗を流しました。この後は、入浴・自由歓談で、22時消灯就寝で、一日目が終わりです。他校との交流は、インターアクターの一番の楽しみで、この年次大会のほか、地区大会などの限られた機会しかなく、今後の課題として認識しています。余談ですが、インターアクター達は、年次大会を大変楽しみに心待ちにしています。「年次大会欠席にならないように、体調管理に気を付けます。」とわざわざ顧問の先生に言って来るインターアクターもいるくらいで、年に一度のイベントとして定着しています。二日目は、点鐘、挨拶に続いて、プログラム4の「絵本セラピーについて学ぼう」です。絵本セラピスト協会、谷口桂子氏を講師に、絵本の持つ世界観や影響力について学びました。自分達で簡単な絵本も作りました。この頃になると、他校のインターアクターとも打ち解け、交流が深まります。和やかな雰囲気の中に、感想発表、講評、次期開催地発表、記念撮影と続き、全てのプログラムが終了です。準備と運営に奔走いただいた皆様、本当にお疲れ様でございました。インターアクター達の笑顔と成長が最高の喜びです。



誕生学 菊地咲十子氏と清水恭子氏を講師に迎え、生命誕生の神秘・自分がこの世に誕生するまでの連鎖の奇跡と必然・命の重み、自分を大切にすること等を学びました。稀有な存在である自分の誕生と、自分と他人の存在を大切に思いやる心を理解してくれたと思います。夕食を挟み、ジャージに着替えて体育館でのプログラム3は、レクリエーションです。レクリエーション協会、竹内公史氏の指導のもとで、他校のインターアクターとの交流をしながら、体を動かし、心地よい汗を流しました。この後は、入浴・自由歓談で、22時消灯就寝で、一日目が終わりです。他校との交流は、インターアクターの一番の楽しみで、この年次大会のほか、地区大会などの限られた機会しかなく、今後の課題として認識しています。余談ですが、インターアクター達は、年次大会を大変楽しみに心待ちにしています。「年次大会欠席にならないように、体調管理に気を付けます。」とわざわざ顧問の先生に言って来るインターアクターもいるくらいで、年に一度のイベントとして定着しています。二日目は、点鐘、挨拶に続いて、プログラム4の「絵本セラピーについて学ぼう」です。絵本セラピスト協会、谷口桂子氏を講師に、絵本の持つ世界観や影響力について学びました。自分達で簡単な絵本も作りました。この頃になると、他校のインターアクターとも打ち解け、交流が深まります。和やかな雰囲気の中に、感想発表、講評、次期開催地発表、記念撮影と続き、全てのプログラムが終了です。準備と運営に奔走いただいた皆様、本当にお疲れ様でございました。インターアクター達の笑顔と成長が最高の喜びです。







## 国際ロータリー第2510地区 第40回ローターアクト地区大会

地区ローターアクト委員会

委員長 **蝦名大典** (札幌南RC)

2012-13年度の国際ロータリー第2510地区のローターアクト地区大会は、札幌南ローターアクトクラブより地区代表を出したことにより、札幌南ローターアクトクラブのホストのもと6月29日(土)に札幌のルネッサンスホテルで開催されました。

ロータリアンは来賓を含め33名、アクト28名、ゲスト2名、計63名の方が参加して下さいました。細川ガバナーをはじめ遠方より多くのロータリアン、ローターアクターが参加して下さいました。誠にありがとうございます。

今年度当第2510地区からは札幌南ローターアクトクラブより3名、赤平ローターアクトクラブより1名の計4名が卒業することができました。

高橋会長は「札幌南ローターアクトクラブの会長として実行委員長と地区代表と連携してクラブ会員の全員とで準備をすすめてまいりました。何かを企画し実行していく経験というのは、普段の仕事においてもなかなかあるものではなく、準備期間は大変充実したものであったと感じております。」と話していました。

当日は14時半より開会式、表彰式、卒業式、閉会式があり、18時よりルネッサンスホテル内にて懇親会がありました。表彰式では、個人賞、クラブ賞の表彰、卒業式では厳粛な雰囲気ではありますが笑いもあり感動の涙もあり、参加ロータリアンからもローターアクトらしい表彰式、卒業式だったとの感想を頂きました。閉会式では、例年通り地区役員の引継ぎも行われました。

懇親会では、ロータリアンとローターアクターがクラブや地区を越えて積極的に交流していました。このような交流ができるのも、ローターアクト地区行事の大きな特徴であると考えております。

ご出席を頂いた皆様に感謝を申し上げ、第40回ローターアクト地区大会のご報告とさせていただきます。





# リスボン国際大会報告



地区R I国際大会推進委員会

委員長 佐々木正丞 (札幌RC)

今年度のロータリー国際大会は、ポルトガルの首都リスボンである。

ポルトガルはユーラシア大陸の西のはて。日本からは遥かに遠い。しかし到着時の機内テレビでは地球のほぼ真中である。子午線ゼロのロンドンに近い。

ポルトガルは、四、五百年前から日本とはご縁がある。織田信長のちょっと前の頃からである。端的にその交流をうかがうのにポルトガル語が日本に定着したもの、いくつかを見ればよくわかる。

パン、モール、ボーロ、ピン（ピンからキリまで）、トタン、チャルメラ、タバコ、シャボン、ザボン、コンペート（金米糖）、コップ、キリシタン、カルメ焼き、カルタ、カップ（合羽）、カステラ、ミイラ、逆にハボン、という姓のポルトガル人がいるようだ。



さて、今年度のR I会長は日本の田中作次氏である。その掲げるところは「奉仕を通じて平和を」である。世界ではいまだに国内、国際紛争が群発している。このユーロは、そもそも政治的融和、一体化が第一義であった。通貨ユーロはその次の話である。「平和」とは日本人が思うより世界では重いものであろう。

今までのR I会長のテーマは、自らの内面に問いかけるものが多かった。田中さんは、意識、行動の目的、対象を明示して平和を、ロータリーの真骨頂である「奉仕」によって成し遂げようと言う。当たり前のようにも聞こえるが、今の世界、今の世界のロー

タリーを考えれば、十分に議論に値する。奉仕という言葉にしてからが、ロータリアンのすべてが同じ認識とは限らない。ポリオ撲滅に反対する人も多く見かけるのである。

田中さんは英語でスピーチされた。発音は日本人向けであったが、何万にも早口で、ところどころしかわからなかった。が聴衆の反応は大変良かった。特に自分の生い立ちからロータリーに目覚めるくだりに拍手が起こった。

私もこんな純な人がいるのかと思って感動した。まず、貧しい多人数の兄弟の中で育った人が、自分の人生を、他の人のために尽すと決め、その最終目的を世界の平和を訴える、ということをもとにその通りに受け取りたい。

その夜は北海道ナイトがあり、思っていた以上の50人弱の人々が参会した。私は前回のタイの国際大会がラタクル会長応援で盛会だったので、今年はどうかと案じていた。私は第2510地区からこのように多数で参加戴いたことに深く感謝申し上げた。伊藤義郎R I元理事や多くのご夫人方もおいでで会は賑やかだった。

翌日からは、何組かに分かれて観光である。私共は、札幌クラブと江別クラブとが一緒にセビリア、グラナダ、マドリッドとバスツアーであった。運転手が日産自動車の会長のゴーンさん、そっくりの人でお名前もカルロス・ゴーンと言ったのには大笑いだった。

地区R I国際大会推進委員長として何か終わってホッとしているところです。





## 地区代表幹事の退任にあたって

国際ロータリー第2510地区

代表幹事 中山 弘三郎 (静内RC)

2012-2013年度細川好弘ガバナー年度も、会員の皆様のご支援ご協力によりまして、私の代表幹事の任務も無事終わることが出来ましたことに心から感謝申し上げます。

ローカルクラブからのガバナーの輩出は、当地区としては初めてのことであり、私を含めた幹事7名と財務委員2名、全員が地区の業務に携わった経験も無く、不安の内にガバナースタッフの役に就きましたが、先輩代表幹事や事務局の佐藤さんに支えられて、模索しながら何とか今日を迎えることができました。幸いなことに素晴らしいガバナー補佐と経験豊かな地区委員長の皆様にご就任を戴いて、地区の業務運営に特段のお力添えを戴きましたことに対し、心から厚く感謝申し上げます。

円滑な地区運営を目指してスタッフ一同、精一杯の努力してきたつもりですが、多々至らぬ点や礼を失したことに付きまして、ロータリアンの友情に免じてお許しを戴ければ幸いです。

また、肝心な時期に健康を害して、大変なご迷惑とご心配をおかけしましたことについて、改めて深くお詫び申し上げます。

細川年度は、奇しくも日本で3人目となる「田中作次R I会長」という記念すべき年度でありました。R I会長の「奉仕を通じて平和を」のテーマを受けて、細川ガバナーは「①ロータリーを新世代と共に未来に繋げよう ②地域や世界に役立つ奉仕をしよう ③今一度、親睦と友情を拡大しよう」の三つの地区目標を掲げました。

とりわけ細川ガバナーは新世代奉仕活動に憧憬が深く、地区組織にRYLA委員会を設置するなど、奉仕の第5部門である新世代奉仕部門の充実に力を注がれました。

各行事の開催地の選定については、ロータリーに対する地域の理解を深め、かつ、疲弊する地域の活性化に寄与するためにも、ローカル色を生かして極力地元で開催しよう、というクラブ会員の総意に基づき実施させて戴きました。

特に地区大会については、会場の設定等地域の事情として極めて制約の多い中、若い会員を軸とした実行委員会の企画力と行動力によって地元開催を実現し、多くの会員の皆様をお迎えできたことは、第8グループ及び静内クラブにとって大きな喜びであり歴史に残る年度となりました。

皆様には会場や宿泊施設等でいろいろな面でご不便をおかけし、また、ご不満の点多々あったことと思いますが、都市部には無いローカルの良さも味わって戴けたかと思っております。

この1年間における多くの会員の皆様との出会いを大切に、また、ガバナースタッフとしての貴重な経験を今後のロータリー活動に生かしていく所存ですので、今後とも一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。退任にあたってのお礼とさせて戴きます。

有難うございました。

## 2012-13年度ガバナー補佐退任のご挨拶

第1グループ担当  
ガバナー補佐

**清水 陞**  
(留萌RC)

## ガバナー補佐退任のご挨拶

一昨年12月、静内での次期ガバナー補佐会議から半年間研修を受け、「情報の共有」を目標に第1グループのロータリー活動に微力なりとお役に立てればと思い抱き、歩みを進めて参りました。

相互伝達を心掛け、各クラブ訪問は例年より多めとなりましたが、その度に目にする節度あるクラブ運営、凜とした例会には其々のクラブが有する歴史、伝統が見事に織り上げられていると感服致しました。改めて、その重みを受け止め、心込めて行われた各会長、幹事はじめ会員の皆様に敬意を表します。

『世界で良い事をしよう』をテーマに開催されたIM(都市連合会)では、多くの参加、協力のもと盛会裡に無事終わることが出来ました。岩城パスト・ガバナー講演のロータリー財団、自主編集による「検証ツアー」上映で、その仕組みと流れを学んで戴きました。又、友情厚き第2から第6グループの各ガバナー補佐にお集まり戴き忘れぬ一日ともなりました。

細川ガバナーの慈愛満ちたご指導と地区役員の皆様、そして何より第1グループ4クラブの会員の皆様に支えられての1年と半年でありました。これをもってガバナー補佐の任は解かれますが、責務を果たせたのも皆様から戴いた厚志の賜物と感謝致しております。誠にありがとうございました。

第2グループ担当  
ガバナー補佐

**篠島 弘**  
(滝川RC)

## ガバナー補佐を終えて

ガバナー公式訪問、会員増強、奉仕プロジェクト、福島キッズキャンプin北海道、クラブ訪問、IMなどについての協議のため、前年度5月の新旧ガバナー補佐、会長・幹事会を含め合計6回の第2グループ会長・幹事会を芦別、赤平、砂川、滝川で行いました。会議後の懇親会、更に二次会の席も各クラブで設定して下さり、飲んで、歌って、ロータリーを語り、楽しい場を提供していただきました。また、クラブ訪問では温かく迎えていただき、それぞれのクラブの特色ある運営を学ばせていただきました。

この1年間、非常に忙しい年でしたが、細川好弘ガバナー、中山弘三郎地区代表幹事、地区役員、各ガバナー補佐の皆様、第2グループの会長、幹事ならびに会員の皆様のご支援とご協力のおかげでガバナー補佐の任期を何とか無事終了することができました。皆様に助けられ、勉強しながらのあっという間の一年でした。好意と友情に感謝を申し上げます。有難うございました。

第3グループ担当  
ガバナー補佐

**増山 柳**  
(江別西RC)

## ガバナー補佐退任ご挨拶

この一年間どれだけ多くの方々との素晴らしい出会いと、ロータリーの友情を戴いて来た事でしょう！そして、細川ガバナーとの公式訪問はロータリアンとして認識の浅い私にとっては実に意義深く、回を重ねる事にその責任の重さを実感させられました。又、同じ立場に立っていた11名のガバナー補佐の皆様とは苦楽を共にした分、強い絆も生まれたと思います。第3グループ8クラブが大震災復興補助金を使わせて戴き、甲状腺検査装置・福島アンダー18及び現地サポート事業に、地区のグループとして始めて取り組むことが出来ました事は私にとりまして一生の思い出となりました。

現地サポート事業では福島県立富岡、須賀川両養護学校へ希望された教具の贈呈、そして甲状腺検査装置は当地区第3グループと第2530地区及び第3340地区(タイ



東北)、第3350地区(タイ中央)とのマッチング・グラントによって寄贈させて戴くことが出来ました。この事業を遂行出来たのは第3グループの皆様方のエネルギーと結束のお陰です。これからも被災された方々が「元の生活に戻るまで」息の永い奉仕を続けて行ってほしいと思います。

最後になりましたが、この事業を前面から支援して下さった第2530地区の安藤新世代委員長と当地区の出村財団委員とに心から感謝申し上げ、ガバナー補佐としての最後の挨拶と致します。

## 1年を振り返って

細川ガバナー、地区役員、各ガバナー補佐、第4・第5グループクラブ会長、幹事、会員の皆様のご支援、ご協力により、無事に任を終えることができ、感謝を申し上げます。各クラブへの訪問、奉仕活動、特別な行事にも参加させて戴き、幅広くロータリーを知る機会となり、有意義な一年でした。一番の大仕事は、IMのホストを務めることであり、「国境を超える新世代～3.11から感じた命と平和」の開催でした。

IMの講演では、東日本大震災の被災地で、地域の人々が支えあいながら心の傷を癒していく、しなやかな強さの素晴らしさが発表され、まとめとして「3.11を忘れず、人種や国境を越えて交流を深め、命の尊さを想い、平和な世界のためにひとつでも何かできることを！」で締めくくられました。後の懇親会では、参加したロータリアン、新世代の方々との交流の輪も広がり、地区目標のロータリーを新世代に繋げようの目的に少し貢献できたと思います。一年間、どうもありがとうございました。



第4グループ担当  
ガバナー補佐

**藤森 敏昭**

(札幌モーニングRC)

## ガバナー補佐を終えて

ガバナー補佐の役割は何であろうかと自問自答の一年間でありました。RI、地区の方針等は地区協議会を通じて各クラブに伝わります。むしろガバナー補佐の役割は、各単位クラブのご意見、あるいは第5グループとしての総意を地区に伝え、地区改革の一助になるべく努力することだと確信致しました。

各グループのガバナー補佐と交流を深めることによって、第2510地区には様々なクラブがあり、第5グループの各クラブもそれぞれに特色があることを知りました。まさにロータリーは単位クラブが主体で、共通したルールになじまない組織であることを思い知らされました。

第4、第5グループ合同会長・幹事会に於いて、地区委員選考のあり方、一部の国に偏った米山奨学生の問題等厳しいご意見が出されました。地区組織のあり方等も含めて、一步前進することを期待します。



第5グループ担当  
ガバナー補佐

**武部 實**

(札幌南RC)

## ガバナー補佐の1年を終えて

「奉仕を通じて平和を」をテーマとして始まった田中作次RI会長年度に第2510地区第6グループのガバナー補佐として推薦されましたことは誠に身の引き締まる思いで一杯でした。地区ガバナー細川好弘氏の温厚で包容力のあるご指導の下、グループ内各クラブを訪問させていただきました。地区の方針である1)ロータリーを新世代と共に未来に繋げよう、2)地域や世界に役立つ奉仕をしよう、3)今一度、親睦と友情を拡大しようという地区の方針を背中に背負い、各クラブでお話する機会をいただきましたことは、私にとりまして印象に残ったクラブ訪問でありました。

永年ロータリークラブに在籍して、Knife and Folk memberでしかなかった、この



第6グループ担当  
ガバナー補佐

**谷川 淑郎**

(余市RC)

身に各クラブはその活動のすばらしさを見せてくださいました。グループ内には70名前後の会員数のクラブから10名前後のクラブまで、その規模に富んでおりますが、各クラブとも伝統的に情熱を持って奉仕活動を実行され、地域へ貢献をされておられます。今後自分自身や所属クラブへの刺激になったことを感謝申し上げます。各クラブ、グループ、地区、国際ロータリーがますます発展することを祈ります。1年間ありがとうございました。



第7グループ担当  
ガバナー補佐

佐々木 昭

(千歳RC)

## 細川好弘ガバナーに支えられた価値ある1年を終えて

25年猶予のロータリアン歴でこれほど充実した一年は無かったと、改めて所属クラブ並びに第7グループの会員皆様の温かいご支援と、細川ガバナーをはじめとする地区の幹事の皆様に、好意と友情を戴きましたことに厚く感謝申し上げる次第であります。

従来は、単一のクラブで、井の中の蛙宜しく地区協議会とのパイプ役の重要性については、全く無知の世界であったのですが、この約1年半のガバナー補佐の在任期間で、ものの見方、考え方を180度変えることができました。

特筆することとしては、12あるグループのガバナー補佐との連帯感・情報の共有そして細川ガバナーを通じてのチームワークに、感嘆する場面を沢山与えてくださいました。

この度の大役を終えてみて、かつての分区代理の時代から大幅にレベルアップしていることと、グループ内輪番制の功罪が論ぜられている中で、数の論理だけでなく人材発掘の観点から、この素晴らしい体験を、全員が享受できることの喜びを勝ち得て戴ければと思うようになりました。

ガバナー補佐の固有の業務として、ガバナーの公式訪問例会随行・各グループの都市連合会（IM）の開催・会長幹事会・クラブ訪問等々盛り沢山ありますが、これら事業を通じて地区協議会と各クラブとのパイプ役を果たすことが、今後のロータリークラブの発展と、未来への夢実現に通じることができ、崇高な理念高揚に寄与するとすれば、この上ない幸せと思ひ退任のご挨拶とさせていただきます。



第8グループ担当  
ガバナー補佐

中村 茂

(様似RC)

## ガバナー補佐を終えて

細川ガバナーより、ガバナー補佐の大役を委嘱され、思えば不安いっぱいスタートでした。改めて「ロータリー」とは、そして「ガバナー補佐の役割」を勉強させて戴きました。細川ガバナーは私達第8グループより初めて選出されたガバナーです。ガバナーの掲げた地区目標「①ロータリーを新世代と共に未来に繋げよう。②地域や世界に役立つ奉仕をしよう。③今一度親睦と友情を拡大しよう。」の目標実現に向け、第8グループ会長・幹事さんはじめ、会員の皆様が真摯に取り組んで戴いたことに感謝申し上げます。

また、10月13日～14日開催の地区大会では、ガバナーの強い指導の下、静内クラブを中心に、第8グループ会員の方々のご協力を戴き、成功裏に無事終了したことは、私のロータリー人生の最大の思い出となりました。

またIMについては、様似クラブがホストとなり、認知症について学びました。私にとりましては、この1年間細川ガバナーをはじめ、12グループのガバナー補佐、そして中山弘三郎地区代表幹事はじめ地区役員の皆様、第8グループ会長・幹事、会員の皆様の温かいご支援とご協力を戴き、何とか任期を終えることが出来ましたことを心から感謝申し上げます。ありがとうございます。





第9グループ担当  
ガバナー補佐

**飯尾 哲也**  
(室蘭RC)

## ガバナー補佐退任挨拶

ガバナー補佐を受け大変なことになるな～と思いつつ平成23年12月、静内でガバナー補佐会議が開催されました。

11名の補佐と細川ガバナー、中山地区代表幹事、地区幹事の皆様との出会いでありました。私の仕事はガバナーの補佐であり、「要」はどのように進行するか、室蘭東、室蘭北、伊達、登別、洞爺湖、室蘭、ロータリークラブの皆様にご支援を戴くことから、補佐の始まりの研修会、会議、協議会等を勉強させていただきました。

特に思い深い合同事業のIMは細川ガバナーの地区目標でありました「ロータリーを新世代と共に未来に繋げよう」という事から室蘭RCがホストになりIMのテーマを「新世代奉仕活動について」と掲げました。新世代、青少年の奉仕の実践の在り方を講師、柳孝一氏（地区新世代奉仕委員長・札幌幌南RC）をお招きして次世代について奉仕の方向を学習致しました。

6合同事業の活動としてはにぎにぎしく大盛會に終了し友情と親睦が深められました。又、柳氏から6ロータリーとしてリーダーとしての奉仕活動の提唱を進言され今後の学習課題になりました。

一年間は各クラブを訪問し大きく私にロータリーとは……と勉強の期間を与えられました。補佐の役目で仲間の親睦と友情ができました。各クラブの皆様の励ましを身に感じました。地区の皆様、9グループの会長・幹事より温かい力添えを戴きました。お世話になりました方々に感謝とお礼を申し上げまして退任の挨拶と致します。



第10グループ担当  
ガバナー補佐

**秋田 正悦**  
(函館亀田RC)

## ガバナー補佐退任のご挨拶

ガバナー補佐を引き受けるにあたり、不安もありましたが、グループ内の会長・幹事さんはじめ会員皆様のご協力で職務を果たすことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

細川ガバナー公式訪問では、好意の友情を持って温かく迎えていただき、和やかな中に公式訪問を無事終了した事。公式訪問とは別に各地を訪れた時は地域のニーズに沿った奉仕活動など、各クラブの特色ある運営を学ばせていただきました。多忙な1年ではありましたが、貴重な経験をさせていただき、新たな仲間との友好を深めることが出来たことにとっても感謝しています。1年間大変お世話になりました。



第11グループ担当  
ガバナー補佐

**前川 敏雄**  
(江差RC)

## ガバナー補佐を終えて

前任のガバナー補佐から指名を受けてもう2年が、経過しました。江差RCから13年ぶりのガバナー補佐を承りました。

細川ガバナーと出合ったのは小樽の地区大会で、エレクトとしての挨拶が心に感じこれは細川ガバナーに、ついて行くしかないと決意しました。

ガバナー補佐会議からスタートし公式訪問、クラブ協議会、クラブ訪問等々、補佐としての仕事がこんなに多いと思いませんでした。

ガバナー補佐としてIMリーダーを任せ大変苦労しましたが実行委員の皆様のご協力もと大成功に終わることができ更に10・11グループの結束が高まった事に感激しております。

担当の北斗RCの移動家族例会に参加させて戴き本当のロータリアンの姿を觀ました。ガバナー補佐の中で一番若い私を指導してくれた細川ガバナー、中山地区代表幹事、

役員の皆様、各ガバナー補佐皆様、10・11グループのロータリアン皆様心から感謝申し上げます。



第12グループ担当  
ガバナー補佐

**市町 峰行**

(苫小牧RC)

## ガバナー補佐退任のご挨拶

ガバナー補佐研修セミナーを受けての第一印象は、想像以上に大変な任務ということでした。

グループ内各クラブ及びグループ総体を視野に入れながらガバナーの補佐を担う重要な役目であることを知り、一抹の不安を抱きましたが、人間性豊かな細川ガバナーに触れ12名のガバナー補佐同士で、ガバナーを共に支えようと強い連帯感が生まれたことで、その不安は解消されました。

地区大会では、当グループの紹介の場面でガバナーにアクシデントが起きるなど、第2510地区の歴史と私達の記憶に残る大会となりましたが、その後元気になられ、12グループで初めて開催いたしました4クラブ合同のインフォーマル・ミーティング、「広げよう、ありがとうと笑顔の輪」テーマのインターシティ・ミーティングにご出席賜り花を添えて戴きました。細川年度は、ガバナーのお人柄の通り、優しさや明るさと楽しさにあふれた年度であり、私にとりまして、ロータリーとは何かを知らされた貴重な1年でもありました。

細川ガバナー、中山地区代表幹事はじめ第2510地区役員の皆様、各ガバナー補佐、第12グループ各会長・幹事並びにロータリアンの皆様心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。



## ▶ 2012-13年度地区委員長退任のご挨拶 ◀

### 会員増強委員会



委員長  
**熊澤 隆 樹**  
(小樽RC・PG)

会員増強は、ロータリーの活力源といわれております。その重要性は、毎年行われる国際協議会で繰り返し強調されているようです。

そこで私の年度では、ガバナー補佐の大事な役割として純増3名をお願いした経緯があります。また地区組織図でもその存在をはっきりさせてみました。ガバナーを終了して地区増強委員長となった今年度、私の蒔いた種がどうなるか楽しみにしておりました。結果、五月末までは前年を上回っておりますが、北電関連の方々（原発の影響）、そして十数名を有するクラブがここにきて解散という情報が入っておりますので、予断を許さない状況におかれております。いずれにしても退会者防止のために今一度、クラブ又グループ・地区がその研修システムを構築することが急務と感じております。

また今年度は、松宮国際ロータリー理事から発信された「サクジ作戦」なるものが行われ、地区会員増強委員会（12月2日）でも取り上げてみましたが、地区内の反応は芳しいものではありませんでした。

そこで、地味ではありますが、ロータリーの組織強化のために、「R I戦略計画」を真剣に取り組む必要があるのではないのでしょうか？魅力あるクラブ作りこそが、増強の要であることに異論をはさむ余地はないのではないのでしょうか？

### R I 国際大会推進委員会



委員長  
**佐々木 正 丞**  
(札幌RC・PG)

2013年6月23日から26日まで、いつもの年より遅い国際大会がポルトガル・リスボンで開催されました。田中作次R I会長のもと、日本事務局からの最新情報では168の国と地域から19,717人の参加者数があり、そのうち日本からの参加者は2,420人となりました。

当地区からも56人の参加者があり、北海道ナイトでは思っていた以上の50人弱の人々が参会しました。私は前回のタイの国際大会がラタクル元R I会長応援で盛会だったので、今年はどうか、と案じていましたが、第2510地区からこのように多数で参加戴いたことに深く感謝申し上げます。伊藤義郎R I元理事や多くのご夫人方もおいでで会は賑やかでした。

リスボン国際大会及び北海道ナイトを開催するにあたり、ご尽力戴きました皆様に衷心より感謝申し上げます。

### 文献資料室



委員長  
**八 木 徹**  
(札幌東RC)

3年間の委員長生活が終わりました。地区の委員会（文献資料室・米山学友）に8年間程在籍していました。文献資料室とは毎年ガバナーが変わる度にその年度の資料を次年度に引き継ぐ時に資料が散在しないように立ち上げられた委員会で、委員会の機能として参考にしたのが、その当時全国には東京と関西の2カ所にしか無かった文献資料室のようだ。関西も先の淡路阪神大震災で資料がダメになってしまい、現在は東京と札幌の2カ所だけになってしまった。この時、東京が震災にあった時に札幌が東京のバックアップになれるかと思ったが全部は無理でも資料の保管・収集は大事な事だと思った。東京の在庫数には敵わないがデータの大切さは十分に理解できた。今後の課題は毎年クリアできない、アナログからデジタルへの移行問題。アナログは増えて保存場所の容積が問題になる。デジタルは保存場所が小さくて済むが簡単に消去・無くなる。一旦無くなった物は再生（現物・本）できない。また、この先地区史を編纂するときにも古い資料は必要になる。この問題は時間が経てば経つ程、集めるのが難しくなると思うので、次年度以降の委員長さんをお願いしたいと思います。また、各クラブの会員の方で古い資料を持っている方は是非、文献資料室へ資料の寄贈（コピーを取らせて頂いてもかまいません）をお願いしたいと思います。やり残した事は多々ありますがいろいろ有難うございました。



## クラブ奉仕委員会



委員長  
**長谷川 壽朗**  
(札幌手稲RC)

過去5年に渡って、いわゆるCLPについてガバナーからの要請に基づき、取り組んでまいりました。今年度は、12月に「CLPなどの『クラブ活性化』についての実施状況」調査を全クラブにお願い致しました。

その結果の一部を記載して今年度の報告に替えさせていただきます。今回の調査への回答は72クラブ中42クラブと、回答率は58%と低調な結果となりました。

ともあれ、当地区内クラブのCLP実施状況は、前回、前々回のアンケート結果を考慮しても半数は超えています。しかも、導入したクラブの7割が「地区の推奨」によって導入を決めたことたえており、熊澤ガバナー年度、細川ガバナー年度と2年間にわたり、ガバナー自ら、各クラブさんへCLP或いはクラブ活性化の必要性を訴えてこられた結果だと思っております。また、「今後、クラブ活性化のために望むことは何ですか」との問いに対して「ガバナー補佐の知識の活用」を挙げたクラブが43%、新会員の育成プログラムの実施38%、全てのクラブ委員会委員長が地区協議会に出席する33%と上位を占めました。導入の動機として「地区からの推奨」が7割を占めたことから考えても、地区組織のなかで身近な存在であるガバナー補佐に期待する部分が大きいことは重要です。

なお、今後の課題としては、CLPなどのクラブ活性化に取り組む場合、クラブ体制の継続性、クラブ・リーダーの育成といった、長期計画の立案と実施検証が必須であり、一方、地区としてはCLPなどのクラブ活性化を実施しているクラブの成功例を情報として提供する必要があるのだろうと思っております。

クラブ奉仕委員会での5年間で、所属クラブ以外の多くの会員との交流をさせて頂けたことに、心より感謝申し上げます。有難うございました。

## 広報・IC委員会



委員長  
**堀江 和美**  
(砂川RC)

クラブウェブサイトの立ち上げを「講習会」等を通じてお手伝いしていますが、2012-2013年度では、2つのクラブからサイト立ち上げの依頼がありました。サイトのサーバの確保、ひな形用の意、マニュアル等の作成をすることにより、森RCには2013年4月25日からサイトを公開していただいています。

地区大会ではブースを開設し、多くの方に訪れていただき楽しい情報交換の場となりました。また過去8年分のガバナー月信を単語検索できるようにしたファイルやロータリー活動に役立つ情報を収録したCDを配布し好評でした。その売上金は「大震災支援金」として寄付をさせていただきました。委員が分担してメールマガジンを配信しました。内容は、「ハイライトよねやま」、「ロータリー為替レートのお知らせ」、「地区ホームページ更新のお知らせ」等です。現在の登録者数は約500名で、1年間で配信したメールは約70件でした。この中には、RIからののお知らせ、地区からののお知らせ等も含まれていますが、次年度以降、メールマガジンの活用として地区からの情報発信等が活発になるよう工夫しておきたいと考えております。

地区ウェブサイトでは、投稿約300件、訪問者数は約26,000人(2012/7/1~2013/6/30)でありました。地区奨学委員会、地区米山学友委員会の2つの委員会から、記事掲載要請がありましたが、このように、地区委員会との連携を推進していく必要があると認識をしました。

当委員会は、一昨年からは委員会名称に広報が付け加えられました。広報には、会員向けの広報と会員以外の方々にロータリーを理解していただく広報の2つがあると考えていますが、情報の整理として「RID2510資料集」というサイトも立ち上げています。会員皆様からのご感想をお聞かせ願えればと思います。

1年間、会員皆様の温かいご支援を賜り、また委員会メンバーに支えられ無事に終わられたことを感謝申し上げます。

## 職業奉仕委員会



委員長  
**田澤 泰明**  
(札幌幌南RC)

前委員長、山本さんより地区職業奉仕委員長を引き継ぎました。委員会に参加したのは、4年目ですが、委員長になって1年で次期の福田委員長にバトンを渡すことになりました。十分な活動はできませんでしたが、佐々木PG、塚原PG、細川ガバナーには大変ご指導を受け、又お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

今年度は、ロータリーの原点である職業奉仕について、委員会の勉強会を通じ、設立当初のロータリーの歴史、設立当初の理念、そして現在のR Iでの職業奉仕の考え方、又R Iと対比した日本でのロータリーの職業奉仕についての独自の考え方、又細川年度の地区目標を理解したうえで、当地区でどのような地区職業奉仕委員会の活動をしなければならぬかを考えました。4月の地区協議会、10月の職業奉仕月間での各クラブでの卓話、月信の記事等を通じて、考え方を伝えるような行動を行いました。

又出前授業。職場体験につきましては、今までの活動の検証として、現場の小中学校の校長先生に集まっただき、先生方に、ロータリーの出前授業、職場体験の活動についての感想、要望を聞く機会を設けました。大変貴重なご意見を多数いただきまして、今後の活動の参考にさせていただきます。

目に見えて結果を発表できる委員会ではありませんが、その倫理及びプロジェクト等を奨励し、意識を高めていただく活動が中心になりました。次年度は福田委員長さんですが、各グループ単位で職業奉仕のフォーラム、職業奉仕に関する小冊子の作成等を計画していますので、是非、地区職業奉仕委員会の活動が、活発になることを期待いたします。

## 社会奉仕委員会



委員長  
**清水 哲**  
(札幌東RC)

### 『魔法のランプ』

社会奉仕委員会またはそれに関わる奉仕委員会は、地区の全クラブにあり、それぞれしっかり活動をなさっているのので、地区委員会は、連絡調整に徹していれば大過なくすごせるような面もあり、当委員会活動としては新機軸をうちだすという意味では成果らしい成果を出せずにすごしてまいりました。とはいうものの、社会奉仕委員会は、大震災救援奉仕プロジェクトの一員でもあるということで、新しい経験をさせていただいたので、ここではそれについて述べさせていただきます（委員会活動報告については、地区要覧をご覧ください）。

東日本大震災は、不幸なできごとだったのですが、私には3年間にわたり大震災救援奉仕プロジェクト委員会の委員として仕事をさせていただいたことは大変貴重な経験でした。ロータリアンの奉仕は「自己犠牲」であるということを目の前で見せられて、カルチャーショックの毎日でした。それは、ガバナーであり、地区役員の皆さん、他の委員会の委員長と委員の方々さらには、福島県のロータリアンの方々です。

今回のプログラムでは(私はほとんど、足を引っ張る係りだったのですが)、『良いこと』を企画し、人に依頼し、まとめて、参加される方々へ説明し、会計をしてしかるべき様式で報告をまとめて広報をするなど、いちいち挙げればきりが無いほど様々な仕事に対処する能力が必要となりました。ロータリアンの方々があふれる熱意をお持ちなのは、たぶん当然のことなのでしょうが、驚いたのは、困った場面になって求めれば必ずその能力・才能がある方がどこからアラジンの魔法のランプに命令したかのように『ロータリアン』という煙の中からホワット飛び出してくることです。例えば、キッズキャンプ参加者への説明会の一行3名が搭乗している飛行機が福島空港悪天候のため、千歳に引き返してきても、次の最後の福島行の3名しか空席のない飛行機にのせてしまうような神業を持っている方にもお会いしました。とにかくびっくりの3年間でした。



## 国際奉仕委員会



委員長  
松原重俊  
(砂川RC)

世界の子供たちの笑顔のために — 私達にできること —

1998-99年度、伊藤長英ガバナーの時代からタイ国ノンカイとの交流が始まりました。当初は、国際奉仕事業に対して反発が多かったと聞いておりますが、現在では、タイ国3地区（第3340地区ノンカイ、第3350地区アムナットチャロエン、第3360地区チェンマイ）で事業が実施されるまでになり、3地区の実情に応じた事業を実施し検証も行ってきました。これは、地区国際奉仕（WCS）委員会と地区内クラブの皆様の地道な活動によってなされてきたのです。そして、ただ単に事業を継続するだけでなく、これらの活動を通して、お互いの信頼を得るまでになりました。2年前、日本に甚大な被害をもたらした大震災の時には、タイ国の皆様から沢山の支援を頂き、現在もマッチング・グラントを利用した復興支援事業をパートナーとして支援して頂いております。このような中で友情と絆を得るまでになりました。今年5月には、第3340地区タリーガバナー、ノンカイRCマリー会長、第3350地区ソンプンガバナー補佐が来日・来道されました。マッチング・グラントを利用した福島の復興支援事業の贈呈式に参加したり、ささやかな歓迎会を開催するなどお互いの友情を確認し楽しい一時でした。

私が地区国際奉仕委員長を引き受けるにあたり、最も大切にしたいと思っていることは、事業を継続することは当然の事として、培ってきた友情と絆をさらに深く強いものにしていきたいということです。そして、2012-13年度は、地区内31のクラブから地区国際奉仕事業へ申請を頂くとともに財団のマッチング・グラントを利用した事業も実施され、本当に素晴らし活動ができた一年でした。ご協力頂いた地区国際奉仕委員会の皆様に感謝申し上げます。そして、2013-14年度は、「未来の夢計画」の初年度であり、当委員会としてどのような取り組みが出来るのか模索していきたいと思っております。ご協力頂いたクラブと皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 新世代奉仕委員会



委員長  
柳孝一  
(札幌南RC)

花は咲いたか？

今年度、細川ガバナーは地区目標の第一番目に「ロータリーを新世代と共に未来へ繋げよう。」を掲げられました。その意向のもと、私はRYLA委員会の新設とRYLAの実施、地区内クラブでの卓話7クラブ、地区大会第一目フォーラムの担当、第9グループIMでの講演など様々な活動をさせて頂きました。他にもRYLA研究会の出席、広島での世界平和フォーラム参加、青少年交換の歓送迎、インターアクト年次大会、ロータリーアクト地区大会と振り返れば盛りだくさんの一年でした。

細川ガバナーとは、ガバナーが2000-01年度地区インターアクト委員長、私が地区ロータリーアクト委員の頃からの付き合いであり、いろいろな縁を感じながら新世代担当の私にとって大変心強い一年でした。

2010年から第五の奉仕となり今年度で3年目、ようやく地区内クラブで「新世代奉仕」が浸透してきているなど実感しております。

特に3月に開催された第9グループIMの講演をさせて頂いたことは、とてもいい経験と勉強をさせて頂きました。昨年11月に飯尾ガバナー補佐から依頼を受け、本格的に準備を始めたのは2月に入ってからでした。第9グループ6クラブから120名あまりのロータリアンが登録料を支払ってIMに出席します。卓話では味わえない緊張（卓話でも十分緊張しますが）の40分間でした。皆さんが退屈されないことを第一に考え、お話をさせて頂きました。その甲斐あってか、熱心に話を聞いて頂き、その後の懇親会ではたくさんの方に声をかけて頂きました。さらに2次会、3次会まで楽しませてもらい、準備にかけた時間が報われました。本当に感謝です。

RYLAが復活した記念すべき今年度でしたが、地区大会の並行プログラムの要素が強

く、静内RCの実行委員会の皆様には準備から実施までお世話になりっぱなしでした。2013-14年度は100%、RYLA委員会の運営でRYLAを開催しなければなりません、静内での復活RYLAがあったからこそ次に繋がることを忘れずに臨みます。有終の美を飾るつもりで今年度の大役を果たし、華麗にバトンタッチする予定でしたが、何故かもう一周することになりました。あと一年間、有終の美を飾る花を咲かせ続けたいと願っております。

## ローターアクト委員会



委員長

**蝦名大典**  
(札幌南RC)

地区ローターアクト委員長としての3年が終わりました。私が委員長を受けてはたして地区にどの程度貢献できたのか？と心配になりながらの3年でした。任期中は毎年、計3回もローターアクト全国研修会に参加させていただきました。ロータリー部門でのディスカッションはとても勉強になりました。特に前年度熊本での研修会でお会いした、ローターアクト出身のガバナーのお話はとても興味深いものでした。海外研修では韓国セハニャンローターアクトクラブと交流をすることができました。これからも長い付き合いができるように地区としても継続してサポートしていきたいと思っています。

また昨年度と本年度の2度に渡りインターアクト年次大会にてローターアクト活動を紹介させていただきました。少しずつでもインターアクト出身のローターアクターを増やしていきたいことを望んでおります。

この3年間で委員長を退任させていただきますがこれからもローターアクトの活動を地区のロータリアンの皆様に伝え、少しでもローターアクト活動に興味を持っていただくと幸いです。3年間貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

## インターアクト委員会



委員長

**山口史朗**  
(札幌東RC)

一年間の活動を振り返るにあたり、多くの皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。提唱クラブは勿論、地区委員の皆様、インターアクト校顧問及び関係者、多くのロータリアンの皆様の友情で、一年間の活動を無事終えることが出来ました。重ねて、感謝と御礼を申し上げます。

インターアクトは、各提唱クラブと各インターアクトクラブのコラボで、それぞれに独自の活動を活発に展開しております。募金や清掃などの街頭活動や社会福祉施設慰問、寄付のための資源回収やバザー、保育園訪問や新聞発行など、様々なボランティア活動を相当熱心に行っています。インターアクトに馴染みの薄い方にも、是非ご興味をお持ちいただきたいと願っております。

地区としましては、8月の研修旅行と6月の年次大会の2大行事を中心に活動しております。昨年8月の研修旅行につきましては、詳細を「ガバナー月信9月号」に拙文で報告しましたので、ご一読いただければ幸いです。8月5日～7日の2泊3日の行程で、東日本大震災の被災地である、宮城県仙台市・石巻市・亶理町及び近隣地域を訪問しました。「震災を忘れない、被災地を忘れない～見て・感じて・語り続けよう～」をテーマに、20名のインターアクターの参加を中心に実施しました。なかでも、若林区荒浜地区における畑の瓦礫除去のボランティア活動は、強く印象に残っています。30℃を超える猛暑の中、インターアクター達は一所懸命、農地再生のための瓦礫拾いをしてくれました。大粒の汗が滴り落ちるのも厭わず、一心に作業を続け、レンガやガラスの破片など10を超える麻袋が一杯になりました。目の当たりにした被災地の現実の衝撃もあるでしょう。□ぐちに、「何でもいいから手伝いたい。」「少しでも役に立ちたかった。」「これからも、自分に何が出来るか考えていきたい。」「今度は、家族皆でボランティアに来たい。」等々、つぶらな瞳を輝かせて語る、純粋な心に打たれました。小さな行動でも、大きな意味のあることを感じてくれたことでしょうか。意義ある研修旅行でした。

年次大会については、別掲で報告を寄稿致しました。お目通しく下さいませ。

一年間を通じて感じたことは、インターアクトは、非常に価値あるプログラムだということです。ロータリーが、未来を担う青少年に対して、心からの熱意を届ける、夢を与える素晴らしさを実感しております。これからのロータリーの奉仕活動の柱になると確信しております。今後とも、インターアクト委員会及びインターアクターの活動に対しまして、ご理解とご支援をお願い申し上げますと共に、地区内で益々活動が盛んになることを強く念願しております。

## 青少年交換委員会



委員長

**有田 京史**  
(新札幌RC)

ロータリー年度は7月がスタートですが、青少年交換事業は8月が事実上のスタートとなります。7月は、各国に派遣していた学生が次々と帰国し、又派遣候補生達は最後のオリエンテーションやビザ申請・航空券の取得など時間との戦いで準備の仕上げに追われています。さらに受入学生達は母国への帰国準備の真最中です。7月は、まさに年度の仕上げの月となっています。

2012-13年度は、アメリカ・カナダ・オーストラリアへ計5名の派遣、同3ヶ国より計6名の受け入れを致しました。これらの青少年交換事業は、各受け入れクラブ、各ホストファミリーの皆さんそして各受入れ高校さらにボランティアの日本語教師の皆さんのご協力とご苦勞の賜物と言えます。この誌面をお借りして心からの感謝を申し上げます。2013-14年度におきましては、アメリカ3地区・オーストラリア2地区・カナダ・フィンランドへ計8名の派遣となります。8名中5名がロータリアンの子弟です。札幌東RC、札幌南RC(2名)、札幌モーニングRC、恵庭RC、由仁RC、長沼RC、新札幌RCのクラブ支援を頂いての派遣となりました。

受け入れは、アメリカ・カナダから3名が来日予定です。札幌東RC、札幌モーニングRC、恵庭RCの各クラブにまたお世話になります。他クラブにおかれましても、ご協力ご支援を宜しくお願い申し上げます。

## RYLA委員会



委員長

**舛田 雅彦**  
(札幌南RC)

2012~2013年度は、当地区にとって7年ぶりにRYLAが復活した記念すべき年となりました。当地区の多くのロータリアンにとっては、RYLAはなじみの薄いプログラムであったと思いますが、委員長に就任した私自身も、RYLAの本質がどのようなものであるのかについては、就任当時十分に理解していたとはいえない状態でした。

当地区にとってはなじみの薄いプログラムでも、全国を見渡すと、RYLAを実施していない地区はごく少数なので、ロータリーの新世代奉仕プログラムのなかで欠けていた大事なピースが、細川ガバナーの肝煎りで復活したのは画期的なことであったと思っております。

ただ、今年度のRYLAは、RYLA委員会の蓄積がなかったこともあって、10月の地区大会の並行プログラムとして、地区大会実行委員会の全面的なご支援で実施させていただきましたので、RYLA本来の姿とは若干異なるのではないかと違和感を覚えながらの開催であったことも否めません。RYLAは、地区内の各クラブに、将来のリーダーにふさわしいと思われる新世代の若者を推薦していただき、彼ら彼女らに魅力的な様々な体験を提供することを通じて、ロータリーの理念を理解しているリーダーを育成し、社会の様々な場所にロータリーの思想を広めようという狙いで実施されます。もちろん、RYLA参加者が将来のロータリアンとして活躍してくれることも想定しているので、RYLA参加者の発掘・推薦は将来のロータリアンを育成するための先行投資の意味もあります。

私自身は、次年度もRYLA委員長をさせていただくことになりましたので、次年度は、RYLA本来の姿を当地区に定着させるための年と自覚して活動を継続して参りたいと考



えております。

1年間ご協力ありがとうございました。次年度以降のご支援もよろしくお願い申し上げます。

## ロータリー財団委員会



委員長

**岩城 秀晴**  
(札幌南RC・PG)

2007年から2012年の6年間に亘り、財団委員長を務めさせて戴き、まことに有難う御座いました。

当初は財団のプログラムのことは理解しているつもりでも、実際に担当することには大変なエネルギーが必要であったと、振り返って見ますと大きなことに気がついた次第です。

2007年はまだ国際親善奨学生希望者が多く、優秀な学生が向学心に燃えて面接試験をする様は、人間の一生を左右する事績であることを痛感致しますし、GSEは交換する他国との友好親善を目的とした職業者の智慧と友好とを出して1ヶ月間の民泊する様は、RIの財団としてのオリジナルなプログラムとして、有効な大きな財産でありました。

ロータリー財団も従来とは少しずつではありましたが、教育的プログラムから、人道的プログラムへの移行に変化して参りました。特に、財団のプログラムは、資金管理がWF（国際財団活動資金）より補助金の管理をしていたのでありますが、13年度の「未来の夢計画」からは、地区が資金管理をするということになりました。

それで、私の年度（2012年）においては、その実施のための準備として、2012年11月10日に「地区資金管理セミナー」を実施して、クラブにおいて、補助金を取扱う責任者として、「資金管理委員」を設置し、その者がクラブの補助金を管理することになったのです。

これからの財団は、未来の夢計画のもと、我々がもっと財団への寄附金がどのように活動する資金として活用するかを我々会員が真剣に考えて行くことがこれからの財団のあるべき姿であろうと考えております。

財団委員会の委員の皆様には大変御苦労をおかけ致しましたことを心より御礼申し上げます。この年度の成果は、次の年度によって成長することを信じて、御報告と致します。

## 補助金委員会



委員長

**久保田 俊昭**  
(札幌RC)

「未来の夢計画」の本実施に向けて

補助金委員会の委員長を仰せつかり、この一年間は、財団の新しい未来の夢計画をスムーズに軌道に乗せるべく、その準備を進めて参りました。

国際ロータリーの使命は、「世界理解、親善、平和を維持すること」であります。同じ使命の財団としても、各クラブが地域密着での各種奉仕プロジェクト等を展開するうえで、皆様方の善意に因る浄財を効率的に活用するためにも、効果的・適正な配分に留意していかねばならないものと思っております。

2012-13年度は、財団が従来から実践しているプログラム（奨学金、GSE、地区補助金、マッチング・グラント等）を実施しつつ、2013年度からスタートする「未来の夢計画」の本実施に向けて、先行パイロット地区での実施事例を参考にしつつ、当地区としての所要の準備を怠り無く進めていかねばなりません。

地区財団としては、地区内関係委員会や安孫子年度の次期地区幹事等のご支援を頂きながら、地区内検討会（補助金委員会の開催）で審議を重ねて参りました。

主な実施事項としては、①教本としての「財団の概要」の冊子の編纂 ②「補助金管理セミナー」の開催（11月）③クラブに対して「参加資格認定（MOU）」取得依頼 ④地区の参加資格認定手続きの完了（12月）等を行なったところであります。

今後、地区としては、クラブが、地域で主体性をもって自主的な奉仕プロジェクトを実施していくうえにおいて、その調査・計画作りや、新補助金活用に向けての事務手続き等

を進めるうえでの協力支援を適切に行う所存であります。

2012-13年度は、旧来の財団プログラムの実践と、2013年度から本格実施する新しい補助金制度（未来の夢計画）の実施に向けて、クラブ指導・支援や地区内関係委員会との協議を重ねて参りましたが、今後ともロータリアン皆様方の温かいご指導・ご協力をお願い申し上げます。

## 財団資金推進委員会



委員長

鍋谷 操子

(函館セントラルRC)

奉仕活動と資金調達は車の両輪

2013年度から本格実施される財団の「未来の夢計画」のスタートに先駆けて、新しく財団委員会の下に新設された「財団資金推進委員会」の初代委員長を仰せつかりました。浅学菲才の身ではありますが、ロータリアン皆様のご指導・ご協力を賜り、重責を果たして参りますので宜しくお願い申し上げます。

1917年の国際大会で、6人目のR I会長のアーチC・クランフは、参加者を前にして「世界で善をなすための寄付金を受け取ることは極めて適切なことだと思われる」と、ロータリー基金の創設を呼びかけました。この時に語られた「Doing good in the world 世界でよいことをしよう」という言葉は、今、ロータリー財団の標語となっています。

翌年、カンザスシティRCが26.5ドルを基金に寄付しましたが、これがロータリー基金にとっての最初の寄付金であります。

また、ロータリー財団が最初のプログラムとして実施したのが、18名の大学院生への奨学金の贈呈ですが、これが今日の国際親善奨学金制度の始まりであります。その後、財団は多くのプログラムを生み、多くの賛同と参加を得てきましたが、今や大きく変わろうとしております。

私達が、地域社会や国際社会で奉仕活動をさらに強化し、増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面での援助が必要であります。2001年規定審議会では、「毎年1人当たりの寄付を100ドル」にする決議が採択され、さらに2004年規定審議会では、「Every Rotarian Every Year（毎年あなたも100ドルを）」が採択され、1人1人が、毎年、寄付をしてほしいということが決議されております。

当地区としては、「毎年あなたも100ドル」を寄付することを目標に掲げ、さらに、会員数から推して、年次寄付の目標を30万ドルとしていますが、皆様のご理解によりまして、昨年度・今年度は目標を達成しており、深く御礼申し上げます。

さらに寄付金としては、上記の年次寄付以外に、恒久基金、指定使途寄付、ポール・ハリス・ソサエティーへの協力についてもお願いして参りました。しかしながらロータリアンの皆様のご理解が進んでいないことが残念でありませんが、今年度、「大口寄付者（Major Donors）」やポール・ハリス・ソサエティーが増えたことが大きな成果だと思っており、ご協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

なお、財団への寄付に対しては、寄付者に分かり易い形で、寄付行為に感謝の念を表す「認証」があり（寄付者とすぐに分かるように着用できるピンなどを寄付者に贈る）、また、個人や法人の寄付に対して、税制上の優遇処置を講じることができるようになっております。

社会経済情勢が先行き不安定で、景気回復に向けての足取りも定かでない今日、財団へのご寄付をお願い申し上げますことは誠に心苦しいことではあります、世界平和の達成・維持に向けてのご支援・ご協力を深くお願い申し上げます。

## 職業研修委員会



委員長  
神部 洋史  
(滝川RC)

## 職業研修チーム（VTT）の難しい課題

一昨年までGSEを扱っていた委員会が財団の「未来の夢計画」により補助金システムが変わり、今後は職業研修チーム（VTT）という専門職種のスキルアップを図るためのチームを組織し派遣する委員会になります。

財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることにあります。このためグローバル補助金を使う場合、これに基づいた6つの重点分野が提唱されていて、これに合致したものである必要があります。チームは重点分野に関する「学ぶか教えるか」によって能力を高めることを実証しなければなりません。必ずしも交換ではありません。派遣側が申請時に予算を組んで申請書に明記すれば、ホスト地区での滞在中の費用（宿泊費や食費を含む）をグローバル補助金の中から支払うことも可能です。しかしグローバル補助金を使ってチームを派遣する場合、職業研修チームは明確な目的を持ち、意図、持続性のある成果、準備計画を提案するものでなければなりません。また一つの補助金で1つまたは2つ以上のチームを支援するために使うことができますが、プロジェクトの経費の合計が30,000米ドル以上の事業であることが必要となります。

以上の如く今までのGSEとはまったく違った委員会活動となり、5回の委員会開催も財団委員会から特別派遣して頂いた講師の講演を協議の前に行ったほか、地区大会では啓蒙のためVTTについての解説パネル設置を行いました。この一年間は勉強会が中心で時間を費やす結果となりました。報告すべき活動が無かったので委員会報告というよりVTTの解説になってしまいましたが、プログラムとして派遣するチーム結成については今後も機会ある毎に可能性を追求していく所存です。

## 奨学委員会



委員長  
矢橋 潤一郎  
(札幌東RC)

2010年7月より拝命した委員長職を、2013年6月末をもって退任致しました。前任の菅原秀二委員長のもと、委員を仰せつかったのが2008年7月。当時はまだ「国際親善奨学金委員会」を名乗っていました。2年間の短い経験ですが、ルーチンワークはなんとか。そこに「未来の夢計画」が始まります。これが、思いのほか難しい。パイロット地区の様子を見ても、すぐに当地区で動かせるシステムではなさそう。ということで一旦、奨学生の募集を休止。財団委員会や他の小委員会とじっくり調整することにしました。タイミングが良いのか悪いのかその頃、GSEチームリーダーの指名をいただきました。

同じ財団系の仕事とはいえ、4週間の委員長不在で地区委員のみなさんにご心配をおかけしました。また、さらなるタイミングで受入奨学生が韓国から到着。ドイツへの出発直前です。米山奨学生ではなく、国際親善奨学生が当地区に来ることは極めて珍しい。なのに、事前に財団から知らされていないというトラブル付き。受入クラブの選定を急がねばならず、齋藤康嗣ガバナー補佐（当時）に相談し、札幌真駒内RCで引き受けていただきました。大勢いたベテラン委員の先輩方を総とっかえし、少数精鋭＝ほぼ委員長ひとりのできる体制に、と目論見ましたが、結局大勢の方々にお世話になりました。

交換学生やローターアクターの経験を新世代プログラムに生かせれば、と14年前、気張ってロータリーに入ったものの、地区ローターアクト委員は1年でドロップアウト、交換学生カウンセラーとしては地区青少年交換委員会と大喧嘩。やることなくなったなあ～とフラフラしていたところでGSE委員会に拾ってもらったのが2005年でした。以来GSE3年、奨学金5年。ロータリアン人生の半分以上を財団の仕事に費やすことになるうとは、入会前は想像もしていませんでした。人生わからないものです。45歳にもなって結婚できないとは思っていませんでしたが、それと同じくらい人生設計は難しいものだと思います。



## 新地区補助金委員会



委員長

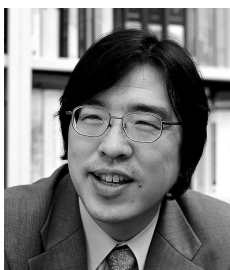
**中山 裕 視**  
(札幌真駒内RC)

今年度は第2510地区の12クラブから補助金の申請がありました。12クラブの総申請金額は3,471,800円です。今年度の財団の補助金額は27,000ドルです。1ドル80円で計算しますと2,160,000円です。10月までに委員会を2回開催して、プロジェクトの内容を慎重且つ公平に審議して、各クラブの補助金を決定しました。決定総金額は2,140,000円です。年内に各クラブに決定金額を振り込みました。

今までの人道的活動に限るという補助金制度は今年度で終了します。次年度からは、財団の夢計画の実行ということで補助金制度が大きく変わります。

今年度の補助金申請手続きにおいて、かかわった多くの関係方々に深く感謝いたします。どうもありがとうございました。

## 財団学友委員会



委員長

**菅原 秀 二**  
(札幌大通公園RC)

7年ほど国際親善奨学金の仕事をしていましたが、2012-13年度は財団学友委員会の委員長を拝命いたしました。2003年から3年間学友会の第2代会長を務めさせていただいたので、久しぶりに古巣に帰る心境でした。今年度は学友会の役員会とほとんど合同で委員会を開催させていただいたのも学友会とロータリーをつなぐという意味で、意義があったと思っています。ただ、私は今でも学友会の顧問ですので、どこまでが財団学友委員会の委員長として関わっていたのか、その線引きがあいまいなところがあったかもしれません。他の委員の皆様にはその点、申し訳なく思っています。

さて、今年度も帰国報告会を軸に活動してきました。帰国報告会と学友会総会が同時に開催され、それに間に合うようにニュースレターも作成されました。ロータリー財団の資金の流れが変わり、国際親善奨学生の募集が中断し、GSEも最後の派遣となっていたことから、報告者が確保できるか心配でしたが、GSEの矢橋チームリーダーのご協力もあり、無事に開催でき、盛会となりました。ガバナーはじめ、御出席のロータリアンの皆様にはこの場を借りて、御礼申し上げます。

また、私自身が長く国際親善奨学金に関わってきたこともあり、今年度は新しい奨学金の制度設計に協力させていただきました。財団委員会と奨学金委員会、さらに学友会と一緒に5回ほど準備委員会を開催し、今年度の末に募集が開始されました。今後、書類選考や面接を経て、新奨学生が決定していきますが、新しい学友のために、オリエンテーションや留学中のサポートに関しても、奨学金委員会と協力して実施していけたらと思っています。また、職業研修チームも近いうちに開始されると聞いていますので、今後またそちらからも新たな学友を迎えることができることと思います。新しい奨学金や職業研修チームへのロータリアンの皆様の御支援をお願いします。

## 補助金監督委員会



委員長

**愛 須 一 史**  
(札幌はまなすRC)

補助金の有効適切な支出のために

2012-2013年度も、従来と同様に、各クラブが人道的支援のため会員自ら汗を流した活動についての補助金申請がなされました。

2013-2014年度から補助金制度も大きく様変わりする中で、少なくとも今年度については継続してきた各種活動を例年と同様の手法に従って支えられたのではないかと思います。補助金申請をしてくる各クラブが計画する活動内容はロータリーの奉仕の精神に適った活動を具現化したものではありませんが、冒頭に述べた人道的支援のための奉仕活動であり、クラブ会員が直接活動に参画していることが重要です。

もとより、各種各様の多彩な奉仕活動がひとつでも多くのクラブで取り組まれることが望ましく、このことによって、ロータリークラブ全体の広報につながり、会員増強にも資すると考えます。しかし、そうはいつでも無定見な補助が許されないことから、また、限

られた予算の中での配分という制限を受けることから、必ずしも申請をしたすべてのクラブに100パーセント満足していただくわけではありません。そこはご容赦いただきとして、少なくとも補助金制度をうまく利用していただければ、必ず有効有益な奉仕活動を行うことができるものと確信しておりますので、今後ロータリー財団補助金制度がいかん形を変えていっても、その制度をよく知り、ご検討いただくことをお勧めする次第です。

今まで申請していなかったクラブの皆様も、新制度に移行するのを機に、2013-2014年度では新たな活用方法を模索してみてもはいかがでしょうか。

## 米山記念奨学委員会



委員長

**大作佳範**

(札幌南RC)

「地区委員長の体験がくれたもの」

まずは、伊藤理事、2012-2013年度細川ガバナー、安孫子エレクト、羽部ノミニ、委員会の皆様、地区の皆様、所属クラブである札幌南RCの皆様、1年間大変お世話になりました。

この1年を振り返ってみますと、米山委員として3年体験をさせていただき、これでお役目御免と考えていたら委員長を拝命することとなりました。私は委員になるまで米山記念奨学委員会についてはまったく知りませんでした。クラブでも何で寄付するのかも分からずに寄付をしていました。地区の委員をやることで初めて知ることがあるということを知ったことがまず収穫でした。米山の普通寄付と特別寄付についても何で分かっているのだろうか？という疑問があっても深く詮索することはありませんでした。

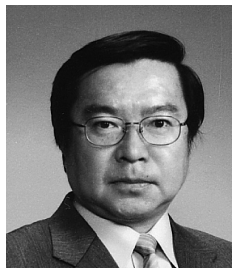
しかし、委員長となると知らないでは済みませんので、資料を調べ、奨学会にも確認を取りました。お陰様で、少しは知識が増えましたので、皆様ご存知とは思いますが、普通寄付が出来た経緯をご紹介させていただきます。

財団法人米山記念奨学会設立（約46年前）の際に、認可機関である文部省が安定収入のない米山記念奨学会は財団として認められないという厳しい態度であったため、全国のロータリアンが普通寄付として4,000円を寄付することを決めました。これを安定収入と文部省が認め、財団法人米山記念奨学会が誕生しました。ですから普通寄付の4,000円はロータリアンと文部省の約束事とも言えるものです。そして、奨学生を支える基になる非常に貴重なものでもあるということが分かりました。委員長を経験させていただくことで理解が非常に深まりました。

また、近隣諸国から北海道で学業に励む奨学生と一緒にすることで、奨学生の可能性をひしひしと感じました。奨学期間を終えて卒業していく時の、一人一人のスピーチは涙あり笑いありで、カウンセラーとともに過ごした時間の濃さを反映して、とても心温まるものでした。皆様の寄付が世界平和に向けて活かされていることを実感できる瞬間でもあります。このような体験を委員長として体験させていただき心から感謝申し上げます。

最後に寄付目標を達成できなかった委員長として、普通寄付一人4,000円の完納をお願いして、私の退任のご挨拶とさせていただきます。

## 米山学友委員会



委員長

**半田 善行**  
(小樽RC)

今年度より、地区の委員長を務める事となりました。私自信は地区米山記念奨学委員会に3年在籍し自身のクラブ幹事を務めた後、5代目の委員長となりました。

米山学友委員会では2年目で委員長になった都合上全体の動きがつかめず、学友会との連携もスムーズには行かぬ1年でした。ただ初代と2代目の委員長の協力が得られる事が出来たので何とか1年を乗り切ることが出来た事を感謝申し上げます。

今期は「定時総会・家族懇親会」には細川ガバナー始め多くのロータリアンの参加で盛り上がりました。「学友会」の活性化を目的に学友会の役員も4名増員しました、また昨年に続き学友会幹事の一人が日本人女性と5月に結婚され小樽RCの協力の元祝賀会の大役を無事務める事が出来ました。

「学友会」の発展はロータリアン皆様の長年の協力によりようやく地区に周知される事になりました。米山記念奨学金で育った学友達はこれからも各国の架け橋役と平和と友情をもたらしてくれるでしょう。学友会は現在創立順で台湾・韓国・中国(香港)・タイの4か国にできました、これらもロータリアン皆さんの地道な活動・支援のお蔭と思っています。

次期はこれらの活動を元にさらに輪を広げたいと思っておりますので今後もご協力をお願いいたします。

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

## ◆米山功労者

札幌はまなすRC	高橋 輝夫 会員(1回) 5月29日	札幌清田RC	宮村 素子 会員(1回) 6月20日
札幌はまなすRC	丹羽 肇 会員(1回) 5月29日	札幌清田RC	三澤 龍子 会員(1回) 6月20日
札幌西北RC	渡邊 葉子 会員(1回) 5月9日	札幌清田RC	村本 忠 会員(1回) 6月20日
小樽RC	秦 健一郎 会員(1回) 5月8日	札幌真駒内RC	中原 孝 会員(14回) 6月14日
室蘭RC	佐藤 一彦 会員(1回) 5月31日	長沼RC	青木 雄一 会員(2回) 6月11日
滝川RC	野田 富夫 会員(2回) 6月18日	長沼RC	池内 昌之 会員(2回) 6月11日
滝川RC	川原 弘嗣 会員(2回) 6月18日	長沼RC	天野 敦子 会員(3回) 6月11日
江別RC	安孫子建雄 会員(4回) 6月14日	静内RC	山口 俊秀 会員(1回) 6月11日
岩見沢RC	山本 公彦 会員(4回) 6月28日	函館五稜郭RC	酒井 正人 会員(15回) 6月21日
岩見沢RC	三嶋 顕 会員(5回) 6月28日	函館五稜郭RC	石坂 仁 会員(1回) 6月21日
札幌モーニングRC	平田 博史 会員(5回) 6月18日	苫小牧東RC	古宇田 涉 会員(1回) 6月26日
札幌モーニングRC	近藤 良一 会員(8回) 6月18日	<b>◆米山功労クラブ</b>	
札幌西北RC	大野 義雄 会員(4回) 6月28日	札幌モーニングRC	(16回) 6月18日
札幌手稲RC	宇野 義昭 会員(1回) 6月24日	札幌手稲RC	(24回) 6月24日

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

## ◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江別西RC	服部 涉 会員(1回) 5月	札幌西RC	中村 嘉人 会員(1回) 6月
札幌西RC	佐藤 裕一 会員(1回) 5月	札幌西北RC	西岡 憲廣 会員(4回) 6月
札幌西RC	大越 克巳 会員(1回) 5月	小樽RC	笠間 茂 会員(2回) 6月
札幌西RC	大金 武夫 会員(2回) 5月	<b>◆ポール・ハリス・フェロー</b>	
小樽南RC	吹越 範義 会員(2回) 5月	札幌西RC	岡本 繁美 会員 5月
小樽南RC	岡崎 芳明 会員(3回) 5月	札幌北RC	嶋田 久昭 会員 6月
小樽南RC	斎田 義孝 会員(4回) 5月	様似RC	田中 正之 会員 6月
江別西RC	増山 柳 会員(2回) 6月	様似RC	中村 茂 会員 6月
札幌モーニングRC	田上 建夫 会員(1回) 6月	伊達RC	河原 文博 会員 6月



クラブ  
報告

# 「長万部 毛がにまつり」に出店

長万部RC幹事 赤塚 章



2013年6月29、30日開催の「毛がにまつり（長万部商工会主催）」に出店し、来場者2万5千人という大イベントに子供達とのふれあいの場を作り綿菓子、スーパーボール等を行い、会員の御婦人達の手伝いもいただき会員相互のコミュニケーションを計り、会員がどこにいるかわからない程の盛況でした。

収益金の一部は地域の社会奉仕活動に使用したいと思えます。3年連続出店し、主催者会長は当クラブ会長の村松和弘です。

## 新会員の紹介

(敬称略)



苫小牧東RC  
松下 文和  
6月6日入会  
日本料理



苫小牧RC  
五十嵐恵滋  
6月7日入会  
生命保険



苫小牧RC  
井坂 孝之  
6月7日入会  
携帯電話サービス



苫小牧東RC  
川島 和浩  
6月13日入会  
大学



苫小牧東RC  
鈴木 浩之  
6月20日入会  
機械器具設置



千歳RC  
名川 誠  
6月20日入会  
ビール製造



苫小牧北RC  
門脇 考靖  
6月30日入会  
一般貨物輸送



苫小牧北RC  
廣島 薫  
6月30日入会  
総合建築業

## 訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに  
心からご冥福をお祈り致します



佐藤 寿博 会員  
(えりもRC)  
2013年6月2日逝去  
(享年61歳)

【ロータリー歴】  
2002年6月1日 入 会  
2010～2012年度 副 会 長



渡部 好治 会員  
(苫小牧東RC)  
2013年6月25日逝去  
(享年89歳)

【ロータリー歴】  
2002年6月11日 入 会  
(チャーターメンバー)  
1995～1996年度 会 長  
2001～2002年度 第12グループ  
ガバナー補佐  
2010～2013年度 友好クラブ委員長

【表彰関係】  
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー  
(3回)  
ベネファクター  
米山功労者マルチプル(3回)

## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2013.5.31	増 減	内女性	
1	深 川	4	37	35	-2	2	94.00
	羽 幌	4	46	46	0	2	90.21
	妹 背 牛	4	10	12	2	0	87.50
	留 萌	4	43	42	-1	3	86.60
	小 計		136	135	-1	7	89.58
2	赤 平	4	28	32	4	0	86.80
	芦 別	4	37	38	1	2	74.29
	砂 川	5	47	46	-1	0	92.89
	滝 川	5	84	83	-1	2	67.00
	小 計		196	199	3	4	80.25
3	美 唄	4	33	30	-3	0	86.63
	江 別	4	34	36	2	1	79.85
	江 別 西	4	26	25	-1	3	95.00
	岩 見 沢	4	80	81	1	0	89.03
	岩 見 沢 東	3	21	22	1	2	87.44
	栗 沢	4	23	23	0	1	93.48
	栗 山	3	23	24	1	3	91.30
	当 別	4	27	28	1	1	87.50
	小 計		267	269	2	11	88.78
4	札 幌	3	110	118	8	0	98.21
	札幌あけぼの	4	15	15	0	2	100.00
	札幌はまなす	4	17	15	-2	3	88.34
	札 幌 北	3	32	35	3	4	88.35
	札幌モーニング	4	44	49	5	0	71.75
	札 幌 西	4	47	51	4	6	84.93
	札 幌 西 北	4	33	33	0	3	82.60
	札 幌 手 稻	3	31	33	2	3	89.00
	小 計		329	349	20	21	87.90
5	札 幌 東	4	121	125	4	0	98.08
	札 幌 清 田	3	20	20	0	6	100.00
	札 幌 幌 南	4	50	52	2	1	100.00
	札幌真駒内	4	23	21	-2	3	100.00
	札 幌 南	3	80	80	0	0	98.75
	札幌大通公園	4	12	15	3	1	64.99
	札幌セントラル	3	7	7	0	3	78.60
	新 札 幌	4	27	24	-3	3	65.03
	小 計		340	344	4	17	88.18
6	岩 内	4	21	21	0	1	87.85
	倶 知 安	4	36	39	3	6	71.00
	小 樽	4	70	68	-2	0	87.00
	小 樽 南	4	71	71	0	2	92.15
	小 樽 銭 函	4	20	21	1	2	76.19
	蘭 越	3	10	11	1	0	94.40
	余 市	5	43	41	-2	4	85.30
	小 計		271	272	1	15	84.84

5月出席率・  
会員増減数

クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,560人
当月末会員数(女性)	2,620人(118人)
増加会員数	60人
当月平均出席率	84.03%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2013.5.31	増 減	内女性	
7	千 歳	4	49	52	3	3	93.20
	千歳セントラル	3	33	36	3	3	72.21
	恵 庭	3	42	41	-1	3	86.12
	北 広 島	4	16	17	1	0	92.19
	長 沼	3	19	20	1	3	91.60
	由 仁	4	9	7	-2	0	78.57
	小 計		168	173	5	12	85.65
8	え り も	3	26	24	-2	1	91.66
	三 石	3	15	15	0	2	73.30
	様 似	4	24	24	0	1	82.30
	静 内	5	72	70	-2	0	62.00
	浦 河	4	34	32	-2	1	82.46
	小 計		171	165	-6	5	78.34
9	伊 達	4	54	55	1	0	78.18
	室 蘭	4	40	40	0	0	87.18
	室 蘭 東	4	38	38	0	0	70.83
	室 蘭 北	4	33	34	1	2	76.47
	登 別	4	31	31	0	1	83.87
	洞 爺 湖	2	9	9	0	0	78.90
	小 計		205	207	2	3	79.24
10	函 館	4	79	86	7	0	79.18
	函 館 亀 田	3	39	40	1	4	88.03
	森	4	42	43	1	0	74.00
	七 飯	4	15	17	2	0	58.50
	長 万 部	3	8	9	1	0	81.46
函館セントラル	4	28	26	-2	2	68.75	
小 計		211	221	10	6	74.99	
11	江 差	5	10	12	2	1	89.60
	函館五稜郭	4	39	48	9	0	88.95
	函 館 東	4	43	48	5	6	77.70
	函 館 北	4	25	23	-2	0	87.50
	北 斗	4	15	15	0	0	57.00
	松 前	3	3	4	1	0	75.00
小 計		135	150	15	7	79.29	
12	白 老	4	28	31	3	1	82.00
	苫 小 牧	4	47	52	5	2	87.36
	苫 小 牧 東	4	28	25	-3	4	92.71
	苫 小 牧 北	4	28	28	0	3	89.39
	小 計		131	136	5	10	87.87
合 計		2,560	2,620	60	118	84.03	

## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2013.6.30	増 減	内女性	
1	深 川	4	37	32	-5	2	88.00
	羽 幌	4	46	45	-1	2	83.15
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	81.25
	留 萌	4	43	42	-1	3	87.62
	小 計		136	129	-7	7	85.01
2	赤 平	3	28	30	2	0	75.80
	芦 別	4	37	36	-1	2	73.38
	砂 川	3	47	44	-3	0	94.92
	滝 川	2	84	83	-1	2	68.00
	小 計		196	193	-3	4	78.03
3	美 唄	4	33	30	-3	0	84.69
	江 別	4	34	36	2	1	88.19
	江 別 西	4	26	26	0	4	94.20
	岩 見 沢	4	80	76	-4	0	88.67
	岩 見 沢 東	4	21	22	1	2	83.87
	栗 沢	4	23	23	0	1	96.80
	栗 山	4	23	24	1	3	94.79
	当 別	4	27	28	1	1	84.82
	小 計		267	265	-2	12	89.50
	4	札 幌	4	110	115	5	0
札幌あけぼの		4	15	0	-15	0	—
札幌はまなす		4	17	13	-4	3	86.67
札 幌 北		4	32	33	1	4	86.36
札幌モーニング		4	44	47	3	0	78.14
札 幌 西		4	47	52	5	6	86.68
札 幌 西 北		4	33	32	-1	3	84.60
札 幌 手 稲		5	31	33	2	3	92.62
小 計			329	325	-4	19	87.61
5	札 幌 東	3	121	117	-4	0	97.96
	札 幌 清 田	4	20	19	-1	5	100.00
	札 幌 幌 南	4	50	52	2	1	100.00
	札幌真駒内	4	23	20	-3	3	100.00
	札 幌 南	4	80	80	0	0	99.69
	札幌大通公園	4	12	14	2	1	64.99
	札幌セントラル	4	7	6	-1	2	71.40
	新 札 幌	4	27	23	-4	3	71.04
小 計		340	331	-9	15	88.14	
6	岩 内	4	21	21	0	1	71.37
	倶 知 安	4	36	39	3	6	74.00
	小 樽	4	70	69	-1	0	87.00
	小 樽 南	4	71	71	0	2	91.46
	小 樽 銭 函	4	20	22	2	2	82.14
	蘭 越	4	10	11	1	0	95.80
	余 市	4	43	41	-2	4	81.10
	小 計		271	274	3	15	83.27

6月出席率・  
会員増減数

クラブ数	71クラブ
期首会員数	2,560人
当月末会員数(女性)	2,539人(115人)
増加会員数	-21人
当月平均出席率	83.84%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2013.6.30	増 減	内女性	
7	千 歳	4	49	50	1	3	95.98
	千歳セントラル	4	33	31	-2	3	78.47
	恵 庭	4	42	40	-2	3	91.67
	北 広 島	5	16	16	0	0	87.50
	長 沼	4	19	20	1	3	81.30
	由 仁	3	9	7	-2	0	71.43
	小 計		168	164	-4	12	84.39
8	え り も	4	26	23	-3	1	90.62
	三 石	4	15	15	0	2	66.60
	様 似	4	24	24	0	1	79.20
	静 内	4	72	65	-7	0	74.64
	浦 河	4	34	29	-5	1	89.84
	小 計		171	156	-15	5	80.18
	9	伊 達	4	54	53	-1	0
室 蘭		4	40	40	0	0	73.72
室 蘭 東		4	38	35	-3	0	80.55
室 蘭 北		4	33	32	-1	2	72.06
登 別		4	31	31	0	1	83.87
洞 爺 湖		3	9	9	0	0	62.90
小 計			205	200	-5	3	74.91
10	函 館	4	79	85	6	0	84.35
	函 館 亀 田	4	39	39	0	4	93.59
	森	4	42	41	-1	0	70.00
	七 飯	4	15	18	3	0	80.60
	長 万 部	4	8	9	1	0	91.65
	函館セントラル	4	28	25	-3	2	72.93
小 計		211	217	6	6	82.19	
11	江 差	4	10	12	2	1	89.60
	函館五稜郭	4	39	47	8	0	90.19
	函 館 東	4	43	48	5	6	76.33
	函 館 北	4	25	22	-3	0	86.36
	北 斗	3	15	15	0	0	58.00
	松 前	4	3	4	1	0	75.00
小 計		135	148	13	7	79.25	
12	白 老	4	28	29	1	1	84.00
	苫 小 牧	4	47	52	5	2	89.43
	苫 小 牧 東	4	28	26	-2	4	91.44
	苫 小 牧 北	4	28	30	2	3	93.34
	小 計		131	137	6	10	89.55
合 計		2,560	2,539	-21	115	83.84	

※札幌あけぼののロータリークラブは6月30日で国際ロータリーを脱会しました



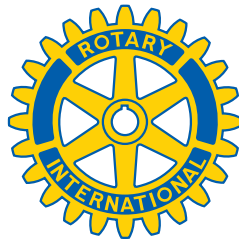
## 最終号のことば

国難である東日本大震災。人間の智力を屈してもその制御力の過信が筆舌に尽くしがたい現実となったのでしょうか。

憂国の志そのものでありますが、田中作次RI会長のロータリーを想う心に感動の一年は、長いようでアツという間の365日間でありました。幸い地区役員、先輩各位の叱咤忠告を賜りながら、和気藹藹の雰囲気を出していただいたロータリアンの皆様一人ひとりに感謝申し上げます。

ガバナー 細川好弘 書





奉仕を通じて平和を

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER  
2012-2013 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510